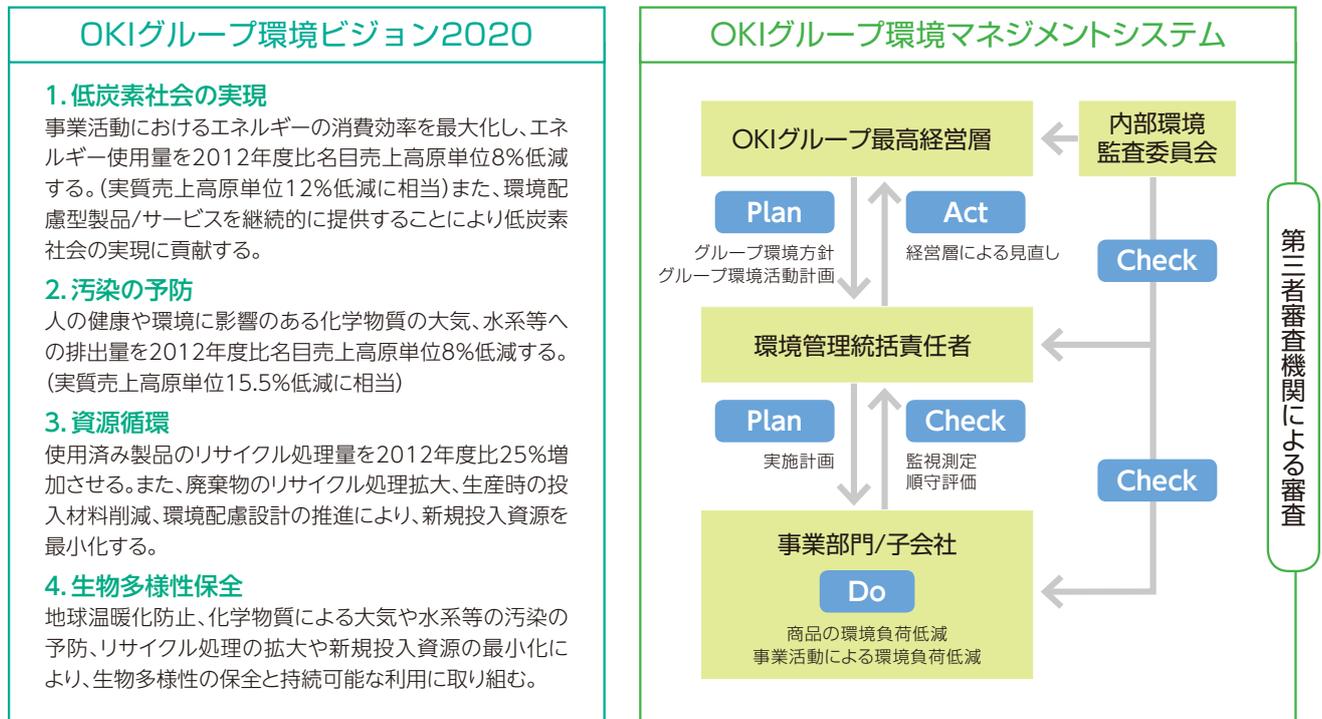


環境への対応

OKIグループは、環境課題を見据えて策定した「OKIグループ環境方針」のもと、4つのテーマからなる「OKIグループ環境ビジョン2020」を掲げ、具体的な活動項目を計画し実行しています。また環境経営の基盤となる環境マネジメントシステムを、グループ全体で実践しています。



OKIグループの主な環境活動計画(2016年度)目標と実績

区分	活動内容	2016年度目標→結果
低炭素社会の実現		
商品系	省エネルギー製品の開発	開発製品の20%以上→28% (従来比21%以上の省エネルギー)
事業系	事業場(工場、オフィス)の省エネルギー	8%以上削減→1.1%削減(2012年度比原単位 ^{※1})
汚染の防止		
商品系	含有化学物質規制に適合した製品の開発	40製品以上→73製品
商品系	新標準調査票への対応による順法確保(化学物質管理システム/管理手順書)	chemSHERPA対応:運用開始→7月開始
事業系	工場からの化学物質排出量削減(大気・水・土壌)	22%以上削減→10.9%増加(2012年度比原単位 ^{※2})
事業系	化学物質関連の法令順守(大気・水・土壌)	法令監査への適合、法令違反ゼロ→達成
資源循環		
商品系	使用済み製品のリサイクル	4,000t以上→3,969t
商品系	リサイクルが容易な製品の開発	30製品以上→32製品
事業系	廃棄物の削減と適正処理	再資源化率80%以上→63%
事業系	資源投入の効率化	17%以上改善→8.8%改善(2012年度比原単位 ^{※3})
共通		
生物多様性保全	低炭素社会の実現/汚染の予防/資源循環	上記取り組みの推進

※1 エネルギー使用量(原油換算値:kJ)/連結売上高(億円)

※2 化学物質排出量(t)/生産高(億円)

※3 資源投入量(t)/生産高(億円)

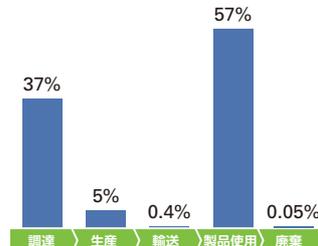
●「ライフサイクル環境経営」を実践

OKIグループは国内外のサプライチェーン全体にわたるライフサイクル視点で環境経営を進めています。調達/生産/輸送/製品使用/廃棄の各段階で環境負荷量の把握、製品特性や事業拠点の特性などの分析を行い、環境経営に反映させています。

●ライフサイクルCO₂排出量の内訳と製品特性に応じた取り組み

OKIグループのライフサイクルCO₂排出量でもっとも大きな割合を占めるのは、製品使用時のCO₂排出量です。

製品使用時のエネルギー削減を実現するには、製品特性に応じた対策が必要です。たとえば、ATM製品やプリンターのように待機と起動を繰り返し、処理量に応じて電力消費が変動する製品では、待機時や起動時の消費電力削減を開発テーマに設定しています。一方、通信装置のように一定の電力で連続稼働する製品では、固定的に消費する電力の削減を施策としています。



OKIグループのライフサイクルCO₂排出量の内訳比率(2016年度)

●事業拠点の特性に応じた環境施策

OKIグループでは、各事業拠点の特性に応じた環境施策を行うとともに、効果的な取り組み事例を水平展開することで、グループ全体の最適化を目指しています。

加工系工場は、生産設備や空調機器が停止することなく稼働していることに着目し、固定的に消費するエネルギーの削減に取り組んでいます。一方、組立系工場では生産量に応じてエネルギー消費が変動することから、多品種少量生産などに対応し、レイアウト変更の柔軟性、セル生産など、効率化を進めて

います。大規模オフィスでは空調機器や照明器具の更新を進め、小規模オフィスでは運用面を中心に改善しています。

●環境配慮設計による省エネルギー・省資源

OKIグループでは、環境性能に優れた商品を「OKIエコプロダクツ」として認定する制度を構築、特に省エネ性能については、従来比50%以上を最上位とした3段階の省エネルギー効果別基準を設けています。一例として、最上位の「OKIエコプロダクツ・ダブルプラス」登録製品であるオフィスコミュニケーションシステム「CrosCore(クロスコア)2」は、装置内電圧の種類を共通化することで、消費電力を従来比で最大約78%削減しました。さらに主装置内部のレイアウトや材質の変更により従来比約34%の軽量化を実現し、輸送時の梱包材使用量も大幅に削減することで、輸送時の環境負荷も軽減しています。



OKIエコプロダクツ・ダブルプラス

●製品含有化学物質の新調査票「chemSHERPA」を導入

OKIグループでは社内システムの改良を重ね、調達部品や出荷する製品に含まれる化学物質を管理しています。2016年度は、ITシステムCOSMOSを製品含有化学物質の情報伝達共通フォーマットchemSHERPA(ケムシェルパ)に対応させました。

chemSHERPAは、製品の化学物質に関する国内外の法規制順守を網羅的に評価できる調査ツールとして開発されたものです。OKIグループではchemSHERPAで調査した情報をCOSMOSに登録し、設計・調達・生産など各プロセスで共有することで、情報の管理、順法性、集計・報告作業の効率化を実現しています。

ライフサイクル視点で見た「環境負荷の低減活動」と「事業へのメリット」

	調達	生産	輸送	製品使用	廃棄
環境負荷の低減	<ul style="list-style-type: none"> 調達物量の最適化 →省エネルギー/化学品汚染の予防 有害物質を含まない部材調達 →汚染予防/法令順守 	<ul style="list-style-type: none"> 生産効率の向上 →省エネルギー/省資源 化学物質の使用・排出削減 →汚染予防/法令順守 	<ul style="list-style-type: none"> 輸送効率の向上 →温暖化防止/資源枯渇防止 梱包材の削減 →資源循環/廃棄物の削減 	<ul style="list-style-type: none"> 製品の省電力化/軽量小型化 →温暖化防止/資源枯渇防止 製品の化学物質の含有量削減 →汚染予防 	<ul style="list-style-type: none"> 使用済み製品の再資源化 →リサイクル率の向上/ 最終処分量の削減/ 含有物質による汚染予防
事業へのメリット	<ul style="list-style-type: none"> 調達コストおよび棚卸削減 法令順守による販売機会の損失防止と事業継続 	<ul style="list-style-type: none"> 生産コストの低減 法令順守による事業継続 	<ul style="list-style-type: none"> 輸送コストの削減 顧客納期への対応強化 搬入/設置作業の効率化 	<ul style="list-style-type: none"> 顧客のエネルギー消費効率化/ 顧客の省エネルギー法対応支援/ 製品の軽量小型化による顧客満足の上 	<ul style="list-style-type: none"> 使用済み製品の回収によるサードパーティー品の排除/ 順法性の向上による企業価値の向上

環境活動に関する詳細は、「環境報告書」およびWebサイトでご報告しています。



Webサイト「環境への取り組み」

<http://www.oki.com/jp/eco/>